

Introduction はじめまして、東京大学 交通・都市・国土学研究室です
News 付知町地区第1回ワークショップを開催しました
プロブパーソン調査結果のご紹介

つけちレター 創刊号

Vol.1/2021年5月

Introduction はじめまして、東京大学 交通・都市・国土学研究室です

ごあいさつ

私たちは、東京大学大学院 工学系研究科 社会基盤学専攻 交通・都市・国土学研究室として、東京都文京区にある本郷キャンパスにて日々研究を行っています。2020年度より「超高速交通網と接続する分散型拠点の設計と地域の持続的在り方に関する共同研究」と題して、中津川市との共同研究をスタートさせました。リニア中央新幹線の岐阜県駅（仮称）開業によって人の流れに大きな変化が予想される付知町地区を対象に、地域の将来像を描きながら、自動運転のような新しい技術を取り入れた地域活性化を目指して参ります。

今年度は共同研究の2年目に突入り、旧街道沿いの古民家を改修した地域拠点づくりや、みなさまのご意見を聞くためのイベント、社会実験などを企画していきます。自動運転技術を取り入れた地域活性化の試みは、私たちにとっても新たなチャレンジです。地域のみなさまにご協力いただきながら、付知のことを学び、将来の姿を一緒に考えていきたいと思っております。これから、どうぞよろしくお願い申し上げます。

東京大学 交通・都市・国土学研究室 羽藤英二
児玉千絵 芝原貴史 北原麻理奈 黛風雅

つけちレターって？

この度、「つけちレター」が誕生いたしました。私たち研究室の付知での活動報告や、イベントのお知らせ、地域のみなさまの声などをご紹介する瓦版です。東京から付知に通う私たちが、地域のみなさまとどんな活動を行っているのか、どんなことを考えているのか、どんなところに魅力を感じているのか、といったことをお伝えできればと思います。不定期発行となりますが、次号以降もお付き合いいただけますと幸いです。

2021年3月30日(火)、付知公民館にて第1回ワークショップを開催しました。付知町地区内の各団体の代表をはじめとする16名の方にご参加いただき、普段お使いになっているスーパーや病院、便利施設等の立地や、定番の散歩ルート、町の歴史が分かるスポットなどをご紹介いただきました。参加者のみなさまとのまちあるきでは、森林鉄道の面影が残る下付知駅跡や貯木場、江戸時代に造られた用水路、付知銀座商店街、桜が見事な河川公園、神社、珍しい温泉スタンドなどを巡りました。生活に根付く豊かな地域資源が数多く点在することを教えていただき、貴重な機会となりました。ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。

ワークショップ当日の様子



- ① 青山市長より開催のご挨拶を頂戴しました
- ② 4つの班に分かれ、付知の資源を話し合いました
- ③ 班ごとにルートを決め、まちあるきを行いました



2020年11月、付知町地区にお住いの約60名の方に、スマートフォンを用いて日々の移動や活動を記録する、プローブパーソン調査にご協力いただきました。付知町地区ならではの結果をご紹介します。

【「散歩」をされる方が多い付知町地区】

全移動の約6%が「散歩・ランニング」を目的としたもので、他地域での調査より高い結果に驚きました。

調査ではGPSで移動中の位置を把握します。右図の黄色い点が散歩中の人を示していますが、早朝から散歩されている様子が分かります。ワークショップでこの結果を紹介したところ、好きな景色を楽しみながら散歩されていることや、昔から健康づくりに熱心な地域であることを教えていただきました。



▲ 朝6時頃の移動を可視化